

第15回公開講演会



地方製造企業の底力

「夢をかたちに、声を技術に」55年

株式会社キンセイ産業 代表取締役社長

金子 正元 氏

講師プロフィール

昭和42（1967）年、群馬県高崎市にて有限会社金正電器を創業。昭和46（1971）年、株式会社化し、社名をキンセイ産業に変更。無煙式焼却炉を開発するほか、昭和63（1988）年にGB型乾溜ガス化焼却装置特許申請を開始。基本制御についての特許を中心に数々の周辺特許を取得。海外においても、台湾、アメリカ等で特許を取得。同特許は他の焼却プラントメーカーの追随を許さない先進的技術となっている。平成9（1997）年日本産業機械工業会第24回優秀環境装置受賞。平成27（2015）年秋の叙勲において旭日双光章受賞。その他、文部科学省、群馬県、中小企業庁などから多くの受賞表彰がある。

日時

令和3年12月8日（水）

16:00～17:30

受付：15:15～

会社説明：15:50～

場所

高崎経済大学151教室（1号館5階）

定員

100名（先着順）

申込フォーム（QRコード参照）

Eメール、はがき、FAXで

氏名・年齢（任意）・郵便番号

住所・電話番号を明記して

事務局まで 締切：12月3日（金）

受講料
無料

【お申込み・お問合せ先】



高崎経済大学 地域科学研究所

事務局：研究グループ研究支援チーム

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300番地

TEL：027-344-6267 FAX：027-343-7103 E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp

お申込
フォーム



地方製造企業の底力

「夢をかたちに、声を技術に」55年



GB型焼却装置（1989）

出所：株式会社キンセイ産業提供

講演概要

「世界で活躍できるモノを作ること—それを夢に抱き、高崎市に創業して、はや50年余りが経過した。」

「転機には人との出会いがあり、一方でさまざまな困難もあった。人々の声をどのように技術に活かし、どのようにさまざまなピンチを乗り越えてきたのか。」

「弊社の技術開発、特許戦略、海外展開の歩みを紹介するとともに、成功の法則はあるのか。何が人生を決めるのか。弊社のモットー「夢をかたちに、声を技術に」とともにお伝えしたい。」

株式会社キンセイ産業 代表取締役社長

金子正元

書籍から

「電気を専門とし、化学が好きな青年が、ボストンバッグ1つで新潟から高崎にやってきた。21歳の時であった。会社を設立し、顧客のアドバイスによって万屋から焼却炉の専門メーカーとなり、環境に負荷をかけずに廃棄物処理をし、その過程で発生するエネルギーをもうまく活用するオンリーワンの技術を開発した。その開発過程において、多くの失敗も経験してきたが、ピンチをチャンスに変えるという金子社長の経営哲学は、キンセイ産業の“ものづくり”に活かされている。」『地方製造業の展開—高崎ものづくり再発見—』131頁（高崎経済大学地域政策学部教授・西野寿章執筆、高崎経済大学地域科学研究所編、日本経済評論社、2017年）から引用。